

3類型	農林水産物	通巻番号	2-27-002
地域資源名	桃、りんご、西洋なし、プラム、いちご、いちじく	認定日	平成27年7月6日
地域	福島県福島市	所管省庁	財務省、農林水産省、経済産業省

事業名：フルーツ王国福島のくだものを使用したフルーツビール(発泡酒)の開発と販路開拓事業

会社名：有限会社福島路ビール 所在地：福島県福島市荒井字横塚3-182

連絡先：TEL：024-593-5859 URL <http://www.f-beer.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

フルーツ王国福島の果物をふんだんに活用したフルーツビール(発泡酒)を開発し、全国に福島の果物をアピールする取組。

- ・果汁使用率を高めながらも、ビール本来のすっきりした味わいを両立させる。
- ・果汁は品種を混醸せず、くだもの一品種のみ使用の単醸とする。
- ・フルーツ王国福島だからこそ可能な様々な種類の果物によるフルーツビールをシリーズ化する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・フルーツ王国福島の果樹を豊富に使用し、各種果物の香りと風味、ビール本来のドライですっきりとした味わいを両立させたもので、果汁を添加した甘いアルコール飲料とは異なるものである。
- ・果汁使用率の増加と果物品種の単醸で、香と風味を強め、下面発酵と手作り作業による酵母と果樹糖分との調整によりドライな味わいのビールに仕上げ、差別化を図る。



福島のもも

◆市場性

- ・近年、味の設計に本格的なこだわりを持ち、ビールの国際コンクールで入賞するなどの実力を持つ小規模醸造所による、フルーツやスイーツなどの味のバリエーションを豊富に取りそろえた商品がブームとなっており、クラフトビールと呼ばれて人気を博している。
- ・国内ビール大手5社のビール系飲料の出荷量は減少し続けるなか、「地ビール・発泡酒の製造概況調査」によると、中小事業者による地ビール等の販売数量は前年比14%増加と好調を維持している。



ビール製造設備(糖化釜と煮沸釜)

◆販路

- ・当社の弱点であった事業者向けや酒卸・酒販店の開拓を重点に進める。多種多様に開発してきた製品ラインナップの再ポジショニングと、自社バリューを視覚的・体系的に訴求する販促ツールを整備して販路開拓を進める。

地域資源における関係事業者との連携

- ・果物の調達には、福島市及び伊達市等で果樹栽培を長年にわたり展開してきた果樹農家と連携し、ビール醸造の適熟果実を選別して取組む。当社で実施してきた香料を一切使用しないビール製造方法により、果汁使用料が増加すれば、果樹栽培農家の所得アップに寄与する。



黄金桃によるフルーツビール